

日本代表候補及び代表選考基準

2019/1/27

日本ローラースポーツ連盟
スピード委員会 脇 弥恵子

2019年度の世界選手権大会参加日本代表選手選考基準は下記の通りとする。

世界選手権大会 (World Roller Games : WRG)

スペイン・バルセロナ 大会；2019年7月6日（日）～7月14日（日）（旅行日程 7/3-7/17 予定）

※ WRG の日程は6月30日～14日となっています。

※ 費用見込み 40万～45万円程度。大会参加航空運賃・宿泊費・現地食費・交通費などを含む。
別途ユニフォーム代金等がかかります。

【基本ルール】

- 選考選手は日本代表としてふさわしい行動をとれる選手とする。
- 選手は選考後日本ローラースポーツ連盟・各県連盟主催の大会に必ず参加すること。
- 海外での合宿、大会参加をする場合には所定の書式にて日本ローラースポーツ連盟会長宛に申請、承認を得ること。また終了後2週間以内に報告書を提出する事。
- 他団体の主催、開催する大会へ出場する場合には所定の書式にて日本ローラースポーツ連盟 スピード委員長へ事前申告をすること。
- スピード委員会からの指定課題（合宿課題・大会参加報告等）、連絡事項への返信（受信確認を含む）の期限は必ず守ること。
- これらの基本的なルールが守れなかった場合ペナルティーとし次年度の代表選考時の選考基準に考慮される。
- ペナルティーについては次のように運用する。
 - ・ 対象事項については次のペナルティーポイントを加算する。
 - ・ ペナルティーポイントの合計が下記期間の累計で+5 を超えた選手は、累計 ペナルティーポイント +5 毎に次年度の代表選手選考基準順位(各大会で当該選手が獲得した順位)に対して+1 の順位降格を行う。
 - ・ ペナルティーポイントの有効期間は、4月1日から翌年の3月31日までとする。
 - ・

対象事項	ペナルティーポイント
全日本トラックレース選手権・全日本ロードレース選手権	3
全日本スプリント選手権大会、全日本マラソン大会	2
東日本トラックレース選手権大会、西日本トラックレース選手権大会	2
海外での合宿、大会参加をする場合に所定の書式にて日本ローラースポーツ連盟会長宛に申請、承認を得なかった場合	1
ローラースポーツの他団体が主催、開催する大会に出場する場合に、日ロー連スピード委員会宛に事前に所定の書式にて参加の申し出を行わなかった場合	1
スピード委員会からの指定課題の期限を事前の連絡なく超過した場合	0.5

【選考基準】

① 世界選手権大会

i. 選考大会

リンク種目は全日本トラックレース選手権大会、ロード種目は全日本ロードレース選手権大会での選考とする

ii. 選考対象選手

(ア) 日本国籍を有する者である事

(イ) 全日本選手権大会でシニア・ジュニアAカテゴリーに参加の選手

iii. 選考基準

各種目上位1位、2位を基本としタイム、レース内容により選考しないこともある。

iv. 選考人数 男女、ジュニア・シニアそれぞれ6名を最大選考人数とする。(合計24名)

【選考大会並びに種目について】

① 選考は各種目別で実施し、大会では選考された種目に出場することとする。選考後に選考種目の出場を辞退する場合は事前に本人よりスピード委員長宛書面をもって報告をすること。その場合は次年度以降代表選考の対象外とする可能性がある。

② 選考大会・種目について選考対象選手は事前に申請することとする。申請は大会申込書で行い、変更は大会1日目の前日まで可能とする。

<補足> 事前に10,000m、20,000mのみの選考を申請した選手はそれ以外の種目で上位に入った場合でも対象以外の種目では選考しない。

③ 選考希望種目については制限しない。

【強化合宿】

選手強化・代表チーム合宿を次の通り行う。

➤ 2019年 5月3日～5日(恵那)

➤ 夏季合宿・冬季合宿(詳細未定)

・ 合宿への参加を辞退する選手はその理由を専門委員会に報告する事。尚、不参加の者に関しては次年度以降代表選考の対象外とする可能性がある。次年度以降代表選考対象外とするかはスピード委員会で不参加の理由を審議しこれを決定する。

・ 日本国籍を有する選手以外で、本人が参加を希望しかつスピード委員会で十分な実力があると認められた選手は参加できる事とする。

世界選手権選考基準タイム

年度	2019	
	男子	女子
500m	47"3	51"7
1000m	1' 27"7	1' 34"4
10000m	16' 35"3	17' 46"4
15000m	24' 44"9	27' 30"1